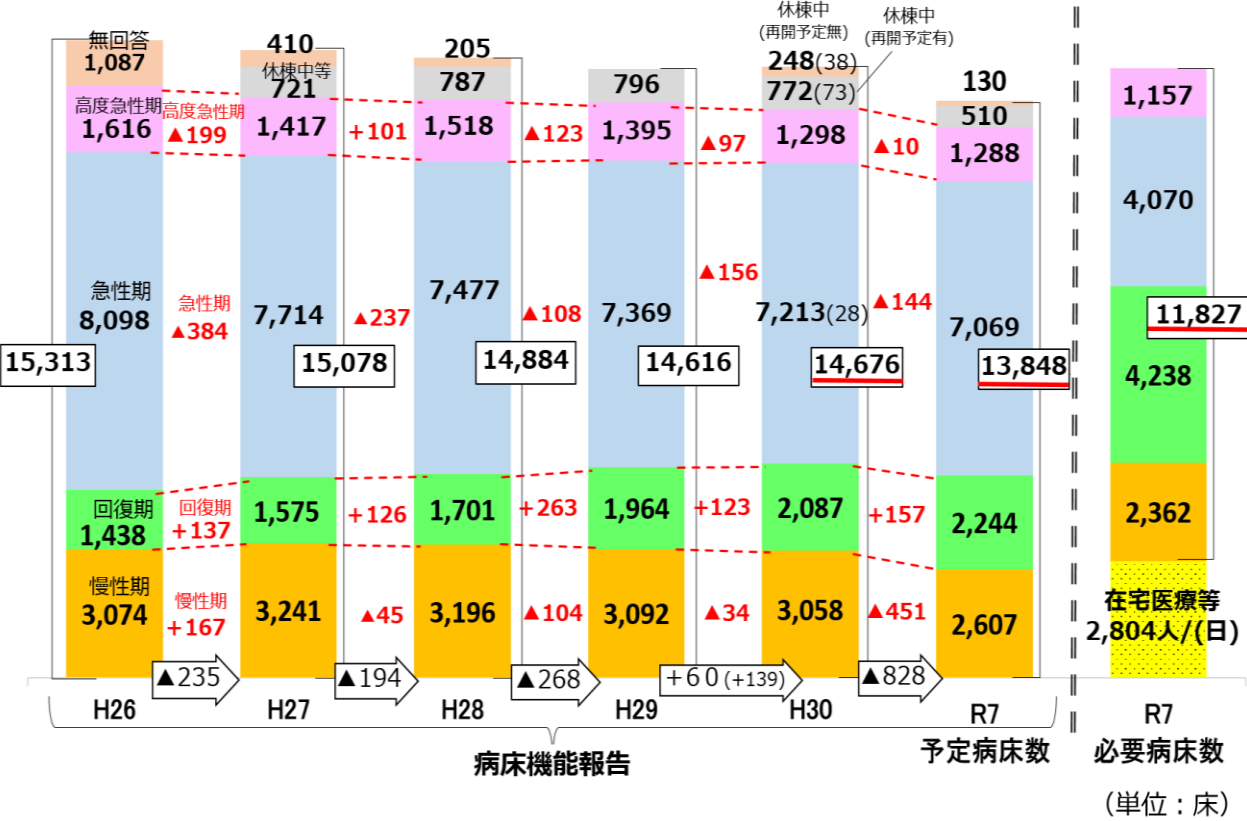


平成30年度 病床機能報告（病床の機能分化・連携の状況）全県

資料2-1

・ H29→H30：高度急性期▲97、急性期▲156、回復期+123、慢性期▲34
・ 県全体のH30病床機能報告の病床数14,676床は令和7年における必要病床数11,827床から、2,849床多く、休棟中等の1,020床を差し引いてもなお多い。
※H30年度報告では、これまで対象に含まれていなかった地域医療構想策定当初に休床していた有床診療所も報告対象としたため、対象となる病床数が前年より増えている。
※地域医療構想策定当初は報告対象外とされていた休床中の有床診療所を報告対象とし、その分の病床数を棒グラフ上の（ ）内に記載している。



	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告	H28 病床機能報告	H29 病床機能報告	H30 病床機能報告 ①	R7 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	1,616	1,417	1,518	1,395	1,298	1,157	▲141
急性期	8,098	7,714	7,477	7,369	7,213	4,070	▲3,143
回復期	1,438	1,575	1,701	1,964	2,087	4,238	2,151
慢性期	3,074	3,241	3,196	3,092	3,058	2,362	▲696
在宅医療等							
休棟中等		721	787	796			0
休棟中等 (再開予定有)					772		▲772
休棟中等 (再開予定無)					248		▲248
無回答	1,087	410	205	0	0		0
合計	15,313	15,078	14,884	14,616	14,676	11,827	▲2,849

※平成30年度報告では「休棟中等」の選択肢がなくなり、「休棟中(今後再開する予定)」と「休棟中(今後廃止する予定)」の項目が新たに設けられている。